

能登半島地震 被災地自主調査について

今年1月1日に発生した能登半島地震の現地調査について、研究所以外の若手技術者も参加し、震源に最も近い鋼製砂防施設の設置されている珠州市大谷地区の土口川と、大規模斜面崩壊の発生している同市仁江町の現地調査を実施しました。

今回の調査は、鋼製砂防構造物をメインテーマとして、当センターの香月研究顧問、小山内研究所長をはじめ、今年4月に設置した鋼製構造物研究室のメンバーを中心に、現地調査を実施しました。



鋼製砂防堰堤の健全度調査
(土口川2号砂防堰堤)



土口川流域内の斜面崩壊状況
(土口川2号砂防堰堤上流)



下流の土砂、倒木の堆積状況
(土口川1号砂防堰堤下流)



大規模崩壊の状況
(珠州市仁江町)

当センターではこれからも、鋼製砂防構造物等の研究・開発や被災地の復旧・復興の支援、若手技術者の育成に取り組んでまいります。

